

臨床研究倫理審査委員会（治験） 議事要旨

【1 部】

開催日時	令和 6 年 12 月 25 日（水） 18:39～19:32		
開催場所	茨城県立中央病院 研修棟 A		
出席委員名	三橋彰一、清嶋護之、小島寛、鈴木保之、武安法之、荒木眞裕、菅谷明德、渡辺敦史、鈴木美加、鈴木洋志、外塚恵理子、多川英久雄、村上りつ子		
課題及び審議結果を含む主な議論の概要	新規試験	持田製薬株式会社の依頼による「dMD-003 安全性および性能確認試験	
	議題①	-計画的 2 期的肝切除を施行予定の患者を対象とした dMD-003 の安全性および性能を検討する試験-	
		治験の実施の適否について審議した。	
	審議結果：	承認	
	議題②	サイネオス・ヘルス・ジャパン株式会社（治験国内管理人）の依頼による「局所進行又は転移性の食道胃接合部癌及び胃癌の一次治療としての HLX22（遺伝子組換えヒト化抗 HER2 モノクローナル抗体注射剤）とトラスツズマブ及び化学療法（XELOX）の併用と、トラスツズマブ及び化学療法（XELOX）とペムブロリズマブの併用又は非併用について比較する無作為化、二重盲検、多施設共同、第Ⅲ相臨床試験」	
		治験の実施の適否について審議した。	
	審議結果：	承認	
	継続試験	MSD 株式会社の依頼による	
	議題③	「胃腺癌及び食道胃接合部腺癌患者を対象とした MK-3475 の第Ⅲ相試験」	
		年次報告及び国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。	
	審議結果：	承認	
	議題④	MSD 株式会社の依頼による	
		「胃癌を対象とした MK-3475 の第Ⅲ相試験」	
		年次報告及び国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。	

審議結果： 承認

議題⑤ MSD 株式会社の依頼による
「胃癌（HER2 陰性）を対象とした MK-3475 の第 III 相試験」
治験に関する変更について審議した。

審議結果： 承認

議題⑥ MSD 株式会社の依頼による
MK-3475 を用いた治験に参加した患者を対象とした第 III 相試験
治験に関する変更について審議した。

審議結果： 承認

議題⑦ MSD 株式会社の依頼による
「食道癌患者を対象とした MK-3475（ペムブロリズマブ）と MK-7902（E7080：レンバチニブ）の第 III 相試験」
年次報告及び国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。

審議結果： 承認

議題⑧ グラクソ・スミスクライン株式会社の依頼による
「未治療の dMMR/MSI-H を有する切除可能な結腸癌患者を対象とした dostarlimab の第 III 相試験」
国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果： 承認

議題⑨ 株式会社新日本科学 PPD（治験国内管理人）の依頼による
「HER2 陽性転移性胃食道腺癌患者を対象とした Zanidatamab との化学療法併用の第 III 相試験」
海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。

審議結果： 承認

議題⑩ 小野薬品工業株式会社の依頼による

「胃がんを対象とした ONO-4578 の第 II 相試験」

国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験継続の可否及び治験に関する変更について審議した。

審議結果： 承認

議題⑪

日本イーライリリー株式会社依頼の鼻腔内ステロイド治療を受けている鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎成人患者を対象として LY3650150（レブリキズマブ）の有効性及び安全性を評価する第Ⅲ相試験

海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果： 承認

議題⑫

パレクセル・インターナショナル株式会社（治験国内管理人）の依頼による

「多発性骨腫患者を対象とした REGN5458 の第 I／II 相試験」

国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果： 承認

議題⑬

MSD 株式会社の依頼による

「胃癌患者を対象とした MK-3475 と MK-7902（E7080）の第 III 相試験」
治験に関する変更について審議した。

審議結果： 承認